

包装に関するヒヤリ・ハット ～包装単位が複数ある医薬品の事例～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「包装単位が複数存在する医薬品」に関する事例が28件報告されています。(集計期間：2011年1月1日～2011年12月31日)

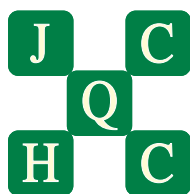
このうち、包装単位が複数存在する医薬品の調剤に関する事例28件のうち、内服薬についての事例は下記の通りです。

販売名	件数	包装単位		主たる薬効 ^{注1)}	事例の概要
		①	②		
アクトス錠15	1	10錠	14錠	糖尿病用剤	28錠渡すべきところ、20錠しか渡していなかった。
アレグラ錠60mg	1	10錠	14錠	その他のアレルギー用薬	14錠のところ、10錠で調剤した。
コディオ配合錠EX	1	10錠	14錠	血圧降下剤	42錠取らなければいけないところを30錠しか取らなかった。
パキシル錠10mg	1	10錠	14錠	精神神経用剤	56錠で調剤するところ、シートの数を間違えて76錠で揃えてしまった。
ファモチジンD錠10mg「サワイ」	1	10錠	14錠	消化性潰瘍用剤	調剤者が56錠のところ40錠で調剤し、鑑査で発見された。
ユリノーム錠25mg	1	10錠	14錠	痛風治療剤	13錠のところを17錠で調剤し、鑑査で発見された。
ラシックス錠20mg	1	10錠	14錠	利尿剤	20錠で処方のところ、16錠で調剤した。
リバロ錠1mg	1	10錠	14錠	高脂血症用剤	患者に30錠渡すべきところ、22錠しか渡していなかった。
アムロジピン錠2.5mg「オーハラ」	1	10錠	14錠	血管拡張剤	112錠のところ、100錠しか貰ってないと電話があった。不足分を渡した。
ノルバスク錠5mg	3	10錠	14錠	血管拡張剤	調剤者が91錠のところ、119錠で調剤し、鑑査で発見された。 112錠で投薬するところ、誤って20錠少ない92錠で投薬してしまった。 112錠で渡すべきところを92錠で渡した。
ファモチジンD錠20mg「サワイ」	1	10錠	14錠	消化性潰瘍用剤	28錠で処方のところ、24錠で調剤した。鑑査時に誤りが発見された。
プレタール錠100mg ^{注2)}	1	10錠	14錠	その他の血液・体液用薬	116錠で処方のところ、112錠で調剤した。鑑査時に誤りを発見した。
ミカルディス錠40mg	1	10錠	14錠	血圧降下剤	56錠で投薬するところ、誤って8錠少ない48錠で投薬した。
エカード配合錠HD	1	10錠	14錠	血圧降下剤	数を間違えた。

注1)「主たる薬効」は、その医薬品が対応する個別医薬品コード先頭3桁の医薬品分類を示す。

注2) プレタール錠100mgは2010年10月に販売中止となっている。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成23年年報」P290図表7-2、P294図表7-3を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) F A X：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>